



並木中等story

令和3年3月22日号

3月22日、終業式の校長挨拶の抜粋です。

今日はここで2つお話をします。1つ目は、コミュニケーションの話です。

皆さんの中にも「私は生き方が下手だ。」と思っている人がいるようです。いくら偏差値が高くても、人間関係で悩む人はたくさんいます。ほとんどの人が人間関係、コミュニケーションで悩むと思います。そのような人に、ちょっと振り返ってもらいたい点があります。何かというと、自分自身は変わらないで、相手・周りを変えて、解決しようとしていないか、ということです。人は何か嫌なことがあると、「誰々がこうだから」という話をします。中には自分を棚にあげて、「誰ちゃんが悪い」とか言い、他の人を悪者にしたててしまうこともあります。私もそうでした。周りが悪い、学校が悪いと言っていた時期があります。しかし、文句を言って、相手は変わるでしょうか。周りが変わるでしょうか。逆に、私は溝を深めることになりました。その後、私が心理学の授業で担当教官から言われたことは、「自分が変わらずに人を変えようとするなんて、なんて傲慢なんだ。自分を何様だと思っているんだ。」ということでした。その時に「自分が変わらなければ、人は変わらない」ということを身をもって学びました。自分は何もしないで、他人を変えようとするのはあさましい行為なのです。人を変えようとするなら、まず、あなたが変わる気持ちで臨まないといけないのです。しかし、不思議なことに、自分が変わると周りも変わるという体験もしました。コミュニケーションは難しいものです。皆さんも苦労しながら、自分にあったコミュニケーションを身に付けてください。

2つ目は、悩みを持った人へです。今年度は活躍した人と同時に、悩みを持った人も多かったと思います。泣いた人もいるし、叫びあった人もいたでしょう。悩みは何歳になってもあるものです。大切なのはそれをどう乗り越えるかです。皆さんはどうですか。悩みの対処法はできていますか。私は本に書かれた文を読み、自分に頑張れ！と励ましています。その文を紹介します。倉田百三さんの『出家とその弟子』（新潮文庫）にある言葉です。「淋しい時は淋しがるがいい。運命がお前を育てているのだよ。只、何事も一筋の心でまじめにやれ。ひねくれたり、ごまかしたり、自分を欺いたりしないで、自分の心の願いに忠実に従え。それだけ心得ていればよいのだ。何が自分の心の本当の願いかということも、すぐに分かるものではない。様々な迷いを自分で作り出すから。しかし、真面目でさえあれば、それを見いだす智恵が次第に磨き出されるものだ。運命にまっすぐに向かえ。智恵は運命だけが磨き出すのだ。」皆さんも自分を奮い立たせる言葉を見つけてください。